



帯広畜産大学 基金報告

-第11号-
(令和2年度)



目 次

学長挨拶	1
令和2年度帯広畜産大学受入実績	2
令和2年度収支決算	3
学生修学支援事業基金	
《感謝の言葉》	
基金奨学生から	4
授業料等免除学生から	8
その他	
寄附者ご芳名	12
感謝状の贈呈	16
帯広畜産大学リサイクル募金事業の開始	17
大学基金運営委員会委員名簿	18
大学基金に関する規程	19

学長挨拶

帯広畜産大学の教育・研究活動に対し、日頃より皆様のご理解と温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

また、大学基金事業にも多大なるご協力を賜り、重ねてお礼申し上げます。お陰をもちまして、令和2年度の大学基金事業が無事に実施できましたことを、ここにご報告させていただきます。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、「ちくだいホームカミングデー」を開催中止としたほか、各地の同窓会等へ足を運ぶこともできないなど、皆様と顔を合わせて直接ご支援をお願いすることは、残念ながら叶いませんでした。令和2年度は大学基金パンフレットの郵送によるご支援のお願いを中心として、同窓生の皆様や保護者の皆様にご協力を依頼したほか、本学と関わりある企業・本学学生の就職先企業等の皆様にもご協力を要請いたしました。また、令和2年7月からは、新たな取り組みとして、「帯広畜産大学リサイクル募金事業」を開始し、既に多くのご協力をいただいております。

新型コロナウイルス感染症の影響による大変厳しい状況の中、皆様から多大なるご賛同とご協力をいただきましたお陰で、令和2年度における大学基金へのご支援は、過去最高の寄附件数・寄附金額となりました。これもひとえに皆様の温かいご厚情の賜物と深く感謝申し上げます。

ご支援いただいた寄附金は、経済的に困窮している優秀な学生への奨学金給付や、授業料・入学料の免除等の学生修学支援事業を中心に、大切に使用させていただきました。

特に令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響によりアルバイト収入が減少するなど、経済的な負担が例年以上に大きい学生も多く、これらの学生からの感謝の言葉も多数届いております。



学長 奥田 潔

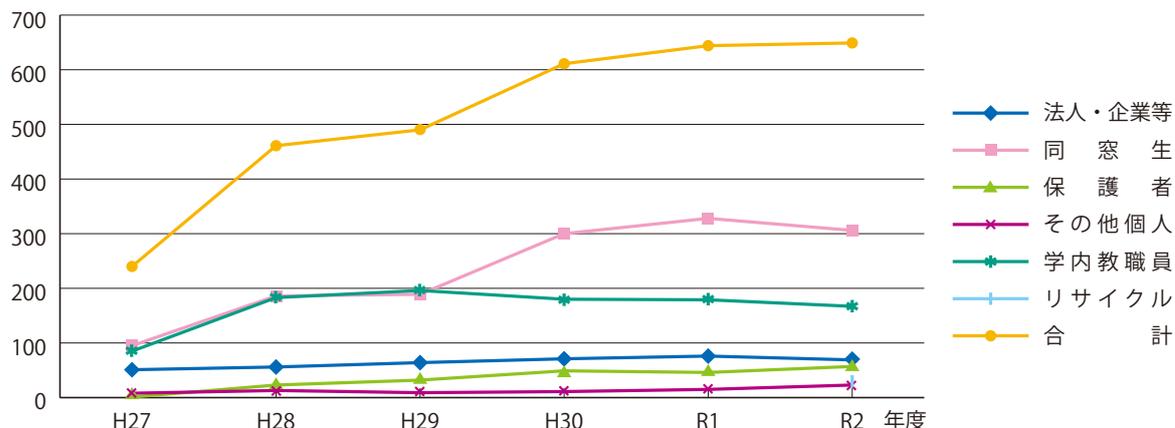
帯広畜産大学基金では、今後も意欲と能力のある学生が新型コロナウイルス感染症や自然災害等の影響により生活に困窮し、学びの機会を諦めることのないように支援を充実させるとともに、学生に豊かな学びの場を提供するため、質の高い教育研究に加え、施設の改修助成等により手厚い学生支援環境の整備を進めて参ります。

つきましては、大学基金事業が安定した財政基盤の下、末永く実施できますよう、引き続きご支援ご協力を宜しく願います。

令和2年度帯広畜産大学基金受入状況

件数 (件)

基金への寄附件数

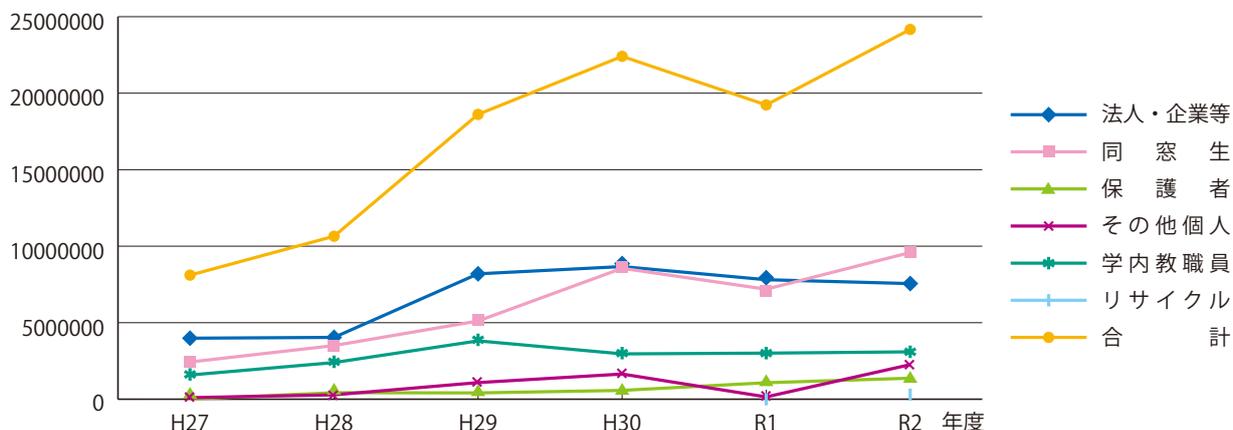


(単位：円)

	平成26年度 年間	平成27年度 年間	平成28年度 年間	平成29年度 年間	平成30年度 年間	令和元年度 年間	令和2年度 合計
法人・企業等	50団体	51団体	56団体	64団体	71団体	76団体	69団体
学外個人	112名	104名	222名	230名	360名	389名	386名
同窓生	102名	95名	186名	189名	300名	328名	306名
保護者	1名	1名	23名	32名	49名	46名	57名
その他個人	9名	8名	13名	9名	11名	15名	23名
学内教職員	91名	85名	183名	196名	180名	179名	167名
賛助会員	91名	85名	102名	105名	93名	86名	77名
ワンコイン賛助会員	—	—	82名	92名	87名	94名	91名
リサイクル募金	—	—	—	—	—	—	27件
合計	253件	240件	461件	490件	611件	644件	649件

金額 (円)

基金への寄附金額



(単位：円)

	平成26年度 年間	平成27年度 年間	平成28年度 年間	平成29年度 年間	平成30年度 年間	令和元年度 年間	令和2年度 合計
法人・企業等	3,870,000	3,986,000	4,040,000	8,194,000	8,668,380	7,808,680	7,554,719
学外個人	1,685,000	2,541,000	4,215,000	6,608,000	10,776,000	8,412,877	13,219,640
同窓生	1,575,000	2,431,000	3,505,000	5,112,000	8,556,000	7,188,867	9,587,640
保護者	10,000	10,000	425,000	411,000	575,000	1,075,000	1,373,000
その他個人	100,000	100,000	285,000	1,085,000	1,645,000	149,010	2,259,000
学内教職員	1,635,000	1,580,000	2,394,500	3,812,500	2,962,000	3,010,500	3,094,718
賛助会員	1,635,000	1,580,000	1,880,000	2,775,000	1,646,000	1,675,000	1,741,718
ワンコイン賛助会員	—	—	514,500	1,037,500	1,316,000	1,335,500	1,353,000
リサイクル募金	—	—	—	—	—	—	297,702
合計	7,190,000	8,107,000	10,649,500	18,614,500	22,406,380	19,232,057	24,166,779

令和2年度 収支決算

収入の部

(単位：千円)

区 分	件 数	金 額
法 人 ・ 企 業 等	69	7,555
同 窓 生	306	9,588
保 護 者	57	1,373
そ の 他 個 人	23	2,259
教 職 員	167	3,095
リ サ イ ク ル 募 金	27	297
小 計	649	24,167
利 息 収 入 等	—	3,159
合 計	649	27,326

支出の部

(単位：千円)

項 目	金 額	
学 生 修 学 支 援 事 業 基 金		
授 業 料 等 免 除 事 業	授業料免除12名, 入学料免除4名	2,735
学 資 給 付 事 業	学部生12名, 大学院生7名	8,520
小 計		11,255
大 学 運 営 支 援 事 業 基 金 ※		
教 育 研 究 環 境 整 備 事 業		0
社 会 貢 献 活 動 支 援 事 業		0
小 計		0
合 計		11,255

※新型コロナウイルス感染症の影響により、大学運営支援事業については、令和2年度は、十勝ジンギスカン会議をはじめとする「ちくだいらんぷ事業」を全て実施中止としました。

(単位：千円)

令和2年度現預金残高	期 首	282,719
	期 末	298,550

基金奨学生・授業料免除学生からの感謝の言葉

「アルバイトの時間や経済的な負担が減り、勉学に集中することができました。」



畜産学部畜産科学課程1年 伊東 航

この度は、帯広畜産大学基金奨学生に採用していただき心より御礼申し上げます。本奨学金を給付していただいたおかげでアルバイトの時間や経済的な負担が減り、勉学に集中することができました。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で一部の実習などは満足に行えませんでした。大学の講義を通して農畜産業の魅力やその際に扱われる技術について深く学ぶことができました。今後も広い視野を持ち続け、食や農畜産業について積極的に学んでいきたいと思っております。学年が上がるにつれ、講義もより難しくなりますが、皆様のご支援への感謝の気持ちを忘れず、日々精進してまいります。この度は誠にありがとうございました。

「精神面、経済面での負担が軽くなり、学業へ集中することができました。」



畜産学部畜産科学課程1年 大澤 萌

この度は帯広畜産大学基金奨学生として採用していただき、心より感謝申し上げます。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、ほとんどの授業がオンラインにて行われ、慣れないことの連続、さらにはアルバイトも自粛等で思うようにできない状況でした。そんな中、皆様からの温かいご支援により、精神面、経済面での負担が軽くなり、学業へ集中することができました。来年度からはユニットへの分属があり、一年生で学んだ基礎知識や一般教養に加え、より専門的な学びへと移っていきます。奨学生として感謝の心を忘れず、今後の大学生活でも多くの事を吸収し、勉学に励んでいきたいと思っております。

「ご支援いただいた感謝を忘れず、今しかできないことに挑戦していきたいと考えております。」



畜産学部畜産科学課程1年 星野 理紗

この度は、帯広畜産大学基金の奨学生として採用していただき、誠にありがとうございます。大学入学からの1年間は異例なことが多くあり、悔しさやもどかしさを感じる場面もありましたが、これまでと異なる環境の中で新たな経験や学びを得ることができました。特に全学農畜産実習では、搾乳・作物栽培・食品加工などの実習を通して、生産現場の苦労や努力、また命を頂くことへのありがたみを感じ、学びを深める良い機会となりました。両親からの金銭的援助は望めない状況ですが、本奨学金を給付いただいたことで、充実した大学生活を送ることができ、大変感謝しております。今後ともご支援いただいた感謝を忘れず、今しかできないことに挑戦していきたいと考えております。

「ご支援に心より感謝し、実りの多い学生生活を送りたいと思っております。」



畜産学部畜産科学課程2年 石原和可菜

この度は帯広畜産大学基金奨学生として採用頂き、誠にありがとうございます。私は学費を奨学金とアルバイト、親からの支援で賄っておりますが、今年は兄弟が大学進学をする予定なので、家計のことを考えると親からの支援を受けることが厳しい状況でした。本奨学金を給付して頂いたおかげで、経済面の負担を減らすことができました。今年度はオンライン授業がほとんどでしたが、農業経済学実習は対面で実施することができました。実習の最後には、それぞれのテーマを決めてデータ分析、調査結果の報告を行い、他の学生からも刺激を受けることができました。皆様のご支援に心より感謝し、実りの多い学生生活を送りたいと思っております。

「奨学生としてふさわしい学生であるよう精進していきたいと思います。」



畜産学部畜産科学課程2年 笹山 航弥
この度は、一年次に続き、帯広畜産大学基金の奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。私は、三つ子であり、それぞれが目標に向かって進学しているため、学費や生活費などは奨学金とアルバイトで賄っています。また、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響でアルバイトによる収入が減少しました。本奨学金のおかげで、経済的な負担を減らすことができ、学業に集中して取り組むことができました。大変感謝しております。三年生になると研究室に配属され、また、実習も増え、より専門的な内容の学習が始まりますが、より一層勉学に励みたいと思います。本奨学金のご支援の感謝を忘れずに、今後も奨学生としてふさわしい学生であるよう精進していきたいと思います。

「アルバイトの時間を減らし、勉強時間を多く確保できるようになりました。」



畜産学部共同獣医学課程2年 工藤 綾
この度は帯広畜産大学基金の奨学生に採用してくださり、誠にありがとうございます。私はもともと他大学へ通っておりましたが、獣医学を学ぶために再受験し現在帯広畜産大学へ通っております。これまで両親の経済的な負担を少しでも軽くするためにアルバイトをおこなっておりましたが、2年次から専門科目の講義が始まり、学業とアルバイトの両立が厳しくなっておりました。奨学生としてご支援をいただきまして、アルバイトの時間を減らし、勉強時間を多く確保できるようになりました。大変感謝しております。多くの方々に支えられて、獣医学を学ばせていただいていることを忘れず、将来立派な獣医師となれるよう日々精進して参ります。

「本奨学金を給付していただいたおかげで金銭面に対する悩みが減り、勉強に時間を割くことができます。」



畜産学部畜産科学課程3年 宮崎 美南
この度は、帯広畜産大学基金の奨学生として採用していただき誠にありがとうございます。私は今現在、国家公務員を目指し試験勉強を学校の勉強と並行して進めています。そのため、国家公務員試験の教材資金等を賄う必要がありますが、勉強時間の確保に伴いアルバイトの時間を減らさざるを得ず、苦しい状況でした。しかし本奨学金を給付していただいたおかげで金銭面に対する悩みが減り、勉強に時間を割くことができます。研究室にも配属され、「油糧作物の十勝地方への新規導入」の研究にもより一層精を出していきたいと考えております。この先も奨学生として相応しい学生となれるよう勉学に励みたいと思います。

「現在、また将来の金銭的な心配が少なくなり、日々の研究活動に集中して取り組むことができます。」



畜産学部畜産科学課程4年 尾島 沙来
この度は、帯広畜産大学基金を授与していただき、誠にありがとうございます。奨学金をいただけたお陰で、現在、また将来の金銭的な心配が少なくなり、日々の研究活動に集中して取り組むことができます。私は、3年次から生殖工学の研究室に所属し、卒業論文では、放射線による精子DNA損傷、精子運動性への影響を調査し、放射線が生殖能力にどのように関係しているのかを明らかにすることを目標とし、提出に向けて尽力しています。来年度からの目標としては、大学院に進学し、放射線と生殖能力の関係性をさらに深く調査していくと共に、体外受精などの生殖工学にまつわる知識、技術の習得に努めたいと思います。

「いつか、自分と同じような経済的事情で困っている学生を支援したいです。」



畜産学部畜産科学課程4年 村上 董

この度は帯広畜産大学基金奨学生に採用して頂き、誠にありがとうございます。私は現在、野生動物学研究室に所属しており、エゾモモンガの糞のDNA解析によって季節毎の採食資源を明らかにする研究を進めております。2020年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、アルバイト先の1つが休業し、減収分を補う為に一時期は単発バイトに多くの時間を費やしましたが、奨学金を頂けるようになったお陰で、安心して再び学業に励むことが出来るようになりました。今後は帯広畜産大学の学生として、奨学生に相応しい姿勢でより精進して参ります。そしていつか、自分と同じような経済的事情で困っている学生を支援したいです。

「皆様のご支援で今の生活が充実したものであることに心から感謝し、今後も精進していきたいと思えます。」



畜産学部畜産科学課程4年 吉川 徳恵

この度は、帯広畜産大学基金奨学金に採用していただき誠にありがとうございます。私は車を所持しておらず大学内のアルバイトで生活費をまかなっていましたが、新型コロナウイルス感染症の関係でほとんどの収入がなくなってしまい、金銭面に大きな不安がありました。本奨学金を給付していただいたおかげでその不安が軽減され、研究に力を入れることができました。卒業研究では、帯広市周辺に生息するエゾリスの対人警戒行動を観察することで、都市化がエゾリスの行動に及ぼす影響について調べています。皆様のご支援で今の生活が充実したものであることに心から感謝し、今後も精進していきたいと思えます。

「奨学金をいただいていることに心から感謝し、きちんと恩を返せるように精進していきたいと思えます。」



畜産学部共同獣医学課程4年 佐藤 未都

この度は帯広畜産大学基金奨学金に採用していただき誠にありがとうございます。本奨学金のおかげで金銭面での負担が減り、より学業に集中することができました。また、新型コロナウイルス感染症の流行によりいまだに安定してアルバイトを行うことができないため、奨学金をいただき本当に助かっています。私は現在共同獣医学課程の4年生で、4カ月ほど前に研究室に配属されました。私の所属している研究室はバベシア病の病態の解明や、偶蹄類マラリアについて研究しています。今は獣医学の勉強に加え、研究のための実験の手技や理論について学んでいます。今後研究していくにあたって、奨学金をいただいていることに心から感謝し、きちんと恩を返せるように精進していきたいと思えます。

「本奨学金の給付により生活に余裕ができ、新型コロナウイルス感染症の影響が
ありながらも研究に専念することができました。」



大学院畜産学研究科畜産科学専攻1年 池本 秀樹

この度は、帯広畜産大学基金の奨学生として採用していただきありがとうございます。大学院生となり、研究に集中したいためアルバイトはできず親からの仕送りもないため、現在ある貯金のみで生活をしなければいけません。しかし、本奨学金の給付により生活に余裕ができ、新型コロナウイルス感染症の影響が
ありながらも研究に専念することができました。私は現在、ゼブラフィッシュを用いたネオニコチノイド系農薬の毒性評価を行っています。ゼブラフィッシュは繁殖率が高く発生が早いこと、遺伝子改変や遺伝子機能阻害などを容易に行えることなどから脊椎動物モデル生物として世界中で利用されてきています。現在、実験データが予想よりも多く取得できているため、今後も実験に取り組み学会発表ができるよう一層邁進してまいります。

「今後もご支援いただいた皆様への感謝の意を忘れることなく、研究に取り組んで参りたいと思います。」



大学院畜産学研究科畜産科学専攻1年 櫻井 祐奈

この度は、帯広畜産大学基金奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。私は兄弟が多いため、両親に金銭的な負担をかけられないと思い、この奨学金制度に申請いたしました。奨学金のおかげでその心配も軽くなり、研究に専念することができています。私はエキノコックス感染症予防に関する研究を行っており、実際に実施されている駆虫薬入りのエサを散布し、エキノコックスの宿主となるキツネに摂取させるという対策において、本当にキツネが摂取することができるのか、他の動物と摂取競合をしているのか、などについて調査しています。より効果的かつ効率的なエキノコックス感染症予防対策実現に少しでも貢献できるよう、今後もご支援いただいた皆様への感謝の意を忘れることなく、研究に取り組んで参りたいと思います。

「経済的な不安が勉学や研究活動の妨げになっていましたが、奨学生として採用されたことでその重い不安が解消されました。」



大学院畜産学研究科畜産科学専攻1年 戸田 萌子

この度は帯広畜産大学基金奨学生として採用して頂き、誠にありがとうございます。以前から自身で生活費を賄っていた上に今年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、経済的な不安が勉学や研究活動の妨げになっていましたが、奨学生として採用されたことでその重い不安が解消されました。私は現在昆虫生態学研究室の一員として、オオセンチコガネという牛などの糞を食べる昆虫を対象とした研究を行っています。対象種の行動観察を通して、進化生物学において重要な配偶者選択と子育て行動の関係についての知見を深められるような研究を目指しています。今後も皆様のご支援への感謝を胸に、奨学生にふさわしい学生生活を送れるよう精進いたします。本当にありがとうございました。

「ご支援くださった全ての方々に心より感謝申し上げます。」



大学院畜産学研究科畜産科学専攻1年 湯谷わかば

この度は帯広畜産大学基金奨学生として採用していただき、誠に感謝しております。現在はキノコや米、海産物由来の脂質の機能性について研究している食品機能化学研究室に所属し、タコに含まれる脂質の大腸炎症抑制効果について研究しています。あまり先行研究のない内容のため、実験方法や脂質含有量についてわからないことが多くありましたが、奨学金のご支援のお陰で経済的なゆとりだけでなく心にもゆとりができ、親を心配させることもなく、研究に集中でき、非常に有意義な1年を送ることができました。これから就職活動も始まりますが、立派な社会人になれるよう、これからもより一層学業に励んで参ります。最後になりますが、ご支援くださった全ての方々に心より感謝申し上げます。

「私が無事大学院を修了することができるのは、学部生の頃からの本奨学金の支援のおかげです。」



大学院畜産学研究科畜産科学専攻2年 川村 香純

まず初めに、昨年度から引き続き、帯広畜産大学基金奨学金の奨学生に採用していただきありがとうございました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、例年よりもアルバイト収入が減少し、かなり生活が厳しい状況だったため、本奨学金のおかげで研究に専念することができました。研究は、マウスを用いた原虫感染症の治療薬の研究を行っており、この研究により、少しでも多くのヒトや動物の命を救うことが出来ればと考えています。春からは、製薬会社の研究職として民間企業で働くことが決まっております。これまで帯広畜産大学で学んできたことを生かして、社会に貢献していきたいと思っています。最後に、私が無事大学院を修了することができるのは、学部生の頃からの本奨学金の支援のおかげです。本当にありがとうございました。

「本奨学金の給付により研究へ集中して取り組むことができました。」



大学院畜産学研究科畜産科学専攻2年 佐藤 夕夏
この度は、奨学金を給付していただき心よりお礼申し上げます。修士2年となり研究が進むにつれアルバイトとの両立が厳しく、本奨学金の給付により研究へ集中して取り組むことができました。私は、気候変動問題の緩和策として有力視されている洋上風力発電に対し、海鳥への影響を最小限にとどめることを目的としてオオセグロカモメ *Larus schistisagus*の生息場選択に関わる要因を明らかにし、それを基にセンシティブティマップというものを作成しています。今回、奨学生としてご支援いただいた分、今後は恩返しをしていけるよう、より一層の努力をしております。この度は帯広畜産大学基金奨学生に採用していただき誠にありがとうございました。

「皆様のご支援のおかげで今の生活が充実したものであることに心から感謝しつつ、残りの学生生活を送っていききたいと思えます。」



大学院畜産学研究科畜産科学専攻2年 富永 祐基
この度は、帯広畜産大学基金の奨学生として採用していただき、誠にありがとうございます。いただいた奨学金のおかげで、金銭面で悩むことなく、研究に集中する時間を増やすことができました。私は現在、食品機能化学研究室に所属し、食事と健康に関する研究に取り組んでいます。対象はリン脂質のなかのプラズマローゲンです。近年、内因性のプラズマローゲンと肝臓での機能性が報告されつつありますが、外因性のプラズマローゲンと肝臓での機能性はまだ報告されていません。ですので、プラズマローゲンの継続的な摂取が肝炎を予防する効果があるのではないかと考え、マウスを使い日々研究を行っています。皆様のご支援のおかげで今の生活が充実したものであることに心から感謝しつつ、残りの学生生活を送っていききたいと思えます。

「金銭的に余裕をもって学会と就職活動に臨むことができました。」



大学院畜産学研究科畜産科学専攻2年 平田 博史
まず始めに、帯広畜産大学基金にご寄附をいただいた個人、団体の皆様に感謝を申し上げます。私は畜産学研究科畜産科学専攻植物生産科学コースにおいて、三浦秀穂教授と大西一光准教授のご指導の下、コムギの品種改良に関する研究を行っております。本年度は学会、就活、修士論文の執筆と重要な出来事が控えている年でしたが、帯広畜産大学基金の奨学生として採用していただき、金銭的に余裕をもって学会と就職活動に臨むことができました。その結果、就活では、昭和産業株式会社、日本製粉株式会社という素晴らしい会社から内定をいただきました。次年度以降は私が帯広畜産大学基金の寄附者となり、後輩たちの力になります。

「自分の学びたい事を諦めずに学んでいる今があるのは、授業料免除による金銭的な助けによるものです。」



畜産学部畜産科学課程2年 富田 綺咲
私の家庭は私が幼い頃から母子家庭で、小学校から学費を支払うのも金銭的に苦しいものでした。そのため、大学へ進学するにあたって金銭面で負担が増えることは理解しており、進学することを躊躇っていました。しかし、授業料免除の制度があることで諦めずに大学に進学することが出来ました。現在、授業料免除を受けさせて頂いていることで、帯広畜産大学で多くの知識や経験を得られ、将来の選択肢を増やすことが出来ています。自分の学びたい事を諦めずに学んでいる今があるのは、授業料免除による金銭的な助けによるものです。本当にありがとうございます。授業料免除のおかげで学んでいる今を大切にして、これからも様々な事に挑戦していききたいと思えます。

「貴重な学習チャンスを必ず大切にし、卒業するまで全力を出して頑張りたいと思います。」



畜産学部畜産科学課程2年 仲懿楠

留学生の私からすれば、経済や学習という二つのプレッシャーが日本での留学生活の中で最も難題と言えます。冬に白い雪に覆われ、夏に緑に染められた北海道が私に新しいチャレンジを与えました。学校の授業料免除が私にとって、大量の時間を無駄にすることなく学習に打ち込むことができるような励みであり助けでもあります。心からここに来て本当によかったです。今の私は帯広畜産大学の一人の学生として誇りに思います。この貴重な学習チャンスを必ず大切にし、卒業するまで全力を出して頑張りたいと思います。

「両親への負担を大きく軽減することができ、私も勉強を続けることができている。」



畜産学部畜産科学課程2年 林心雅

台湾出身の林心雅と申します。去年から今までの一年間は新型コロナウイルス感染症の関係で、日本に帰ることができなくなり、ずっと台湾におります。しかし日本にいらなくても、家賃などの生活費用を支払わないといけないです。さらに、この一年間で両親の収入は減少し、家計が急変したため、日本への送金が非常に困難になっています。幸い授業料免除のおかげで、両親への負担を大きく軽減することができ、私も勉強を続けることができている。とても感謝しています。授業料を免除していただき、本当にありがとうございました。

「授業料免除なしではきっと大学生活もままならなかったと感じており、誠に感謝しています。」



畜産学部畜産科学課程2年 林 芙果

私は小さい頃から動物が好きで、将来は動物と関わる職業に就きたいと考えています。高校時代に先生の勧めもあって、大学に進学しようと決めましたが、私の家庭は経済的に厳しい状況にあり、当初は大学進学に反対されていました。しかし、授業料免除を受けさせていただいたことによって無事に進学することができ、また家計への負担が少なくなり非常に感謝しています。2年生になり環境生態学ユニットに所属し、より専門的で自分が学びたい動物や自然環境などの分野について学ぶことができ、学業以外にも課外活動など大学生活がとても充実しています。今後も様々なことを学び、経験していこうと思います。授業料免除なしではきっと大学生活もままならなかったと感じており、誠に感謝しています。

「今後も支えてくださる方々の存在を忘れず、夢を叶えるために邁進したいと思います。」



畜産学部共同獣医学課程2年 佐藤早羽太

この度は授業料免除をしていただき、ありがとうございます。現在は獣医師を目指して解剖学や生理学などの基礎科目を中心に勉強しています。家計に負担をかけられない状況なので学費は主に奨学金とアルバイトで補うつもりでしたが、獣医専門科目が中心になるとアルバイトに割く時間を確保することが難しくなっていました。今は授業料免除によって生活を安定させながら勉強に集中することができていると思います。今後も支えてくださる方々の存在を忘れず、夢を叶えるために邁進したいと思います。

「幾つになっても学ぶ機会を頂けること、心から感謝しています。」

畜産学部共同獣医学課程2年 谷地田桃子



今回の授業料免除大変感謝しております。私は年齢でいうと、普通なら働いていなければならない年齢です。しかし、獣医学を学び、獣医師になりたいという夢を叶えるために、大学に通っています。授業は難しく大変なところもありますが、仲間と一緒に勉強し、知識を身につけ、自分のものにすることは、とても面白くやりがいがあり、毎日かけがえのない時間を過ごしています。大学に通いながら学生生活にかかる費用を用意するのは難しかったため、このように授業料を免除していただけたことには感謝しかありません。幾つになっても学ぶ機会を頂けること、心から感謝しています。ありがとうございます。

「授業料を免除していただいたおかげで学生生活に全力を注ぐことができました。」

畜産学部畜産科学課程3年 杉本 真帆



今年度の学生生活で最も印象に残っていることは、自分たちで実験を行う実習です。前期は、新型コロナウイルス感染症の影響でオンライン講義となりましたが、後期からは対面で指導していただきました。オンラインでの講義を経験して、実際に自分の手で行うことの重要性を再認識しました。実習での学びを今後の研究に活かすため、今以上に実験の操作に慣れていきたいと考えています。また、今年度は普通の学業に加えて就職活動が始まり、より忙しい日々となりました。これまで以上に時間がなくアルバイトを減らさなければなりませんでした。授業料を免除していただいたおかげで学生生活に全力を注ぐことができました。本当に、ありがとうございました。

「例年とは異なる環境の中で研究を続けることが出来たのは、授業料免除によるものが大きいと思います。」

畜産学部畜産科学課程4年 岩部 梨沙



私は家庭の金銭的な事情により授業料免除を受けさせていただきました。今年は4年生になり、大学生活の多くは研究を行っていました。研究テーマは「林床の光環境によるフッキソウ (*Pachysandra terminalis*) の形態および繁殖生態の変化」で、クローナル植物としての生態調査があまり行われていないフッキソウの生態解明を試みました。新型コロナウイルス感染症により例年とは異なる環境の中で研究を続けることが出来たのは、授業料免除によるものが大きいと思います。学費という大きな負担が軽減されたことで、学ぶ時間を確保することが出来ました。今後は、大学で得た様々な経験や知識を社会へ還元していきたいと思っています。ご支援いただき誠にありがとうございました。

「生きた学びを得る機会をたくさんいただいています。」

畜産学部畜産科学課程4年 木村ほのか



大学は何を学んでも良いところ、と尊敬できる友人に聞いたことがあり、その言葉を実感する4年間です。所属は農業経済学ユニットになりますが、座学から得られる学びは農家バイト先で聞く農家さんの現場の声とつながる部分もあり、他ユニットの友人と過ごす大学生活の中では分野を超えてつながる部分もあり、まさに生きた学びを得る機会をたくさんいただいています。それも授業料免除が日々の大学生活を送る下支えとなっているからです。学ぶ機会を与えてくださりありがとうございます。この場をお借りして感謝の意を記したいと思います。

「私が学生生活の大切な時間を惜しみなく自分の研究に充てることができたのは、授業料免除を受けることができたおかげです。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻1年 太田 征希



私は所属している昆虫生態学研究室で、社会寄生の一種態である「奴隷狩り」を行うアリに対する宿主アリ種の防衛行動に関する研究を行っています。先日、奴隷狩りが行われている場面に居合わせました。普通であれば巢外に出されることはないはずの蛹がせっせと奴隷狩りアリの巣に運び込まれる様子は圧巻ですので、ぜひ足元の小さな世界にも時折目を向けていただきたいです。実験の都合で昆虫の採集や行動観察などやるべきことが多く、そんな中で授業料を納めるのに十分な資金を用意するためにアルバイトをするのはとても困難だったと思われます。私が学生生活の大切な時間を惜しみなく自分の研究に充てることができたのは、授業料免除を受けることができたおかげです。この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。

「アルバイト収入も例年通りとはいかず苦しい中、授業料免除によって家計への負担が軽くなりました。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻1年 木全沙弥香



この度は、帯広畜産大学の授業料免除を受けさせていただきありがとうございます。私の家は父子家庭で、授業料は家計を圧迫する要因になりかねません。また、今年は新型コロナウイルス感染症により異例の一年となり、アルバイト収入も例年通りとはいかず苦しい中、授業料免除によって家計への負担が軽くなりました。私は、現在保全生態学研究室で化学肥料に頼り切りの農業ではなく自然と共生する持続可能な農業を目指して、鳥類の害虫捕食サービスが収量に与える影響について研究を行っています。今後も、ご支援への感謝を忘れずに持続可能な社会形成の一助となるように、日々精進いたします。最後になりましたが、帯広畜産大学基金に携わるすべての方々に心よりお礼申し上げます。

「金銭的な負担が減って、日本に来てから毎日研究や勉強に集中することができ、良い成績を収めることもできました。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻2年 金礼辰



韓国出身の金礼辰と申します。大学を卒業してからすぐ大学院に進み、日本での生活費や授業料は両親に頼ったり、アルバイトしたりするしかない状況でした。授業料免除は大きな励みになりました。金銭的な負担が減って、日本に来てから毎日研究や勉強に集中することができ、良い成績を収めることもできました。毎日研究室で実験したり、同僚と議論したりして、今年無事に卒業することとなりました。帯広畜産大学で楽しく勉強することができ、とても感謝しております。授業料免除をしていただき、ありがとうございました。

「授業料免除をしていただいた事で、学業とアルバイトの両立をし、充実した生活を送ることが出来ました。」

別科2年 高岡 遥翔



帯広畜産大学で授業料免除をしていただいている高岡遥翔です。私の家庭は経済的余裕がなく、家族の負担を減らしたい一心から、入学後独立生計となった為、さらに余裕のない状況でした。しかし、本年度授業料免除をしていただいた事で、学業とアルバイトの両立をし、充実した生活を送ることが出来ました。本年度はコロナ禍で、対面講義の実施が限られ、農場、圃場での実習（牛削蹄・繁殖、作物栽培等）を大変貴重に感じました。機会が少なかった分、集中して取り組むこともでき、無事、牛削蹄・人工授精師の資格取得を見込んでおります。これも、ご支援あつての事と痛感しております。本当にありがとうございました。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、例年実施しておりました基金奨学生との懇談会は、令和2年度は中止としました。

寄附者ご芳名

(令和3年3月31日現在)

【企業・団体等】 (63団体 うち賛助企業58団体)

(五十音順・敬称略)

【100万円】

敷島製パン(株)

【50万円】

日本甜菜製糖(株)

【20～30万円】

十勝農業協同組合連合会
宮坂建設工業(株)

(株)十勝毎日新聞社
宮本機械(株)

ハラデンキ(株)
よつば乳業(株)

【10万円】

内外施設工業(株)

【5万円】

十勝信用組合
(株)平田建設

十勝農協連畜大同窓会
北王コンサルタント(株)

農業生産法人(株)リトルブルーファーム
Y S ヤマショウ(株)

【2万円】

出雲ペットクリニック
やまびこ動物病院(株)

(株)ダイイチ

山の下ペットクリニック

【1万円】

(株)伊豆倉組
(株)十勝生ハム製造研究所
(株)山本忠信商店

(株)エヌシーおびひろ
バイオマスリサーチ(株)

(株)小澤建設
富士金網製造(株)

【企業・団体名のみ掲載希望の寄附者様】

(五十音順・敬称略)

(株)アイエイチメンテック
大槻理化学(株)
帯広地方卸売市場(株)
(株)笹原商産
全国酪農業協同組合連合会
税理士法人竹川会計事務所
十勝地区農業協同組合長会
藤原工業(株)
(株)北海道新聞社帯広支社
三菱商事(株)北海道支社

(有)青田企画工芸
帯広市川西農業協同組合
上川大雪酒造(株)
士幌町農業協同組合
(株)曾我
十勝清水町農業協同組合
(株)日専連ジェミス
北慎建設工業(株)
北海道電力ネットワーク(株)
宮本商産(株)

(株)アクト
帯広商工会議所
(株)北口電気商会
ジャンボ動物病院
大昭電気工業(株)
(有)十勝スローフード
熱源設備(株)
北勢建材工業(株)
北海道農業協同組合中央会帯広支所
(株)柳月

不掲載希望 7 団体

【個人・学外】 (362名 うち賛助会員178名)

(五十音順・敬称略)

【50万円】

齊藤 篤

【40万円】

上田 英夫

【20万円】

林 克昌

武藤ぼくじ

【10万円】

猪田 玲子
鬼塚 義臣
出口 宣夫
安田 英巳

今田 忠夫
木原 淳彦
宮澤 陽夫
山田 進二

大出 真弓
佐藤 信祐
諸角 元二

小田 昌秀
鈴木 一郎
屋代 征治

【5万円】

浅沼 敏生
滝澤 寛禎
山中 健司

紺野 廣重
丹野 久夫

繁田 裕子
長澤 秀行

関本 裕至
名和 靖史

【3万6千円】

安田 昌英

【3万円】

坂井 清治
横尾 博

澤田 拓士

畑中 千啓

三浦 輝雄

【2万円】

石橋 憲一
下野 研一

木暮 靖志
土器屋美貴子

小林 将人
藤村 裕一

佐藤 理映
村林 宏

【1万5千円】

早坂 純一

【1万円】

青山ケエ子
石川 光男
稲田 一郎
宇草 哲夫
影山 晴久
加藤 良彦
川畑 吉弘
佐藤 基佳
末広 彰
高橋 英三
竹内 徹

安藤 弘
石田 雅嗣
乾 英二
海村 正義
勝俣 和悦
印牧 馨
川原 勝則
塩見 康式
砂川 敏文
高橋 繁男
田中悠久子

石川 諭史
磯野進三郎
岩崎 繁基
大宮 良文
加藤 喜市
亀尾 勇人
久保田政男
柴田 雄二
関水 朋大
高橋 次夫
田村 孝彦

石川 智之
市村 豊
岩波 道生
恩田 求
加藤 伸二
河口 和吉
櫻井 健二
下道 宏作
高木 俊雄
高橋 勉
長南 隆夫

東條 雅彦
橋本 良行
深沢 晃
三上 正幸
矢木 沢徳弘
横山 敏
渡辺 順

長澤 とも子
早坂 貴代史
星野 裕樹
宮本 道男
山岸 仁
吉村 忠

中村 隆宏
林 俊克
益田 邦郎
森田 邦雄
山本 誠次
和田 明

西 武久
樋山 貞夫
真野 仁孝
森本 英敬
横沢 冲彦
渡辺 睦実

【5千円】

荒木 貞一
川島 徹
福原 潤一

岩佐 博仁
倉富 聡
宮崎 浩樹

内山 和夫
中屋 尚也

大竹 和秀
濱崎 裕

【氏名のみ掲載希望の寄附者様】

秋野 隆仁
池田 奉昭
岩部 順
大岩 成
大竹 敏恵
大原 睦生
奥村 隆雄
笠井 晋
鎌田 隆
川田 泰正
神林 昌也
黒川 智志
小西 正人
斉藤 正明
坂口 加奈
佐村 久夫
鈴木 光則
瀬子 明代
高橋 一夫
高橋 やす子
高安 皓一
田中 秀明
千田 仁之
鳥羽 建治
西田 千恵
野川 浩道
蜂谷 進
広瀬 春行
星野 敏伸
松本 保
水本 麻湖
村上 豊
山岡 秀俊
山崎 孝雄

安部 忍
石井 格
宇井 三喜子
大澤 敏雄
大谷 亨
大山 洋
押田 訓英
梶 隆
茅野 甚治郎
川村 雅貴
鬼頭 秀
小疇 浩
小林 幹子
斎藤 政克
佐々木 健二
島貫 正道
須藤 恭弘
園田 眞
高橋 セツ子
高橋 梨緒
竹迫 紘
田中 宏幸
辻本 登志英
中川 欣三
西田 譲
野本 清
羽田 昭夫
福本 幸久
細井 大
丸子 秀策
三原 正士
矢島 大彰
山口 純子
山下 博司

有沢 道朗
石田 正人
上仲 一洋
大芝 英明
大塚 信明
岡 初次
小原 裕光
勝田 稔
川崎 寧
菅 愛子
久住 正博
高良 広之
近藤 正治
酒井 國雄
笹渕 俊幸
白戸 綾子
住 伸栄
高桑 修
高橋 直記
高畠 孝一
竹迫 真樹
棚橋 祐治
敦賀 謙一郎
中野 長三郎
西村 達弥
羽柴 清志
広瀬 清
藤本 岳史
細川 誠
丸山 純孝
宮崎 達也
矢島 裕一
山口 隆之
山本 哲也

(五十音順・敬称略)

幾橋 功
伊藤 仁志
内海 真奈美
大杉 雄毅
大野 勝利
奥田 善基
折橋 秀夫
加藤 仁志
川島 ももこ
菅野 典雄
久保田 学
古賀 元美
齋藤 比呂志
酒栄 憲三
佐渡 谷裕朗
鈴木 瑞穂
住友 寛
高嶋 浩一
高橋 秀清
高松 彰義
田中 静幸
谷村 浩一
手島 正浩
南部 実
新田 隆典
橋本 圭
広瀬 とも子
辺見 晶
本堂 勲
三浦 和郎
三好 雅史
安永 百子
山口 佳男
山本 素子

横山 誠人
吉田 嘉明

吉川 明
吉野 英治

吉澤 久美
米澤 裕吉

吉田 定弘
米山 修
不掲載希望 93名

【個人・学内】 (145名)

(五十音順・敬称略)

【30万円～50万円】

井上 昇 門屋 充郎

【10万円～29万円】

奥田 潔

【5万円～9万9千円】

大坪 秀典 辻 修

【1万円～4万9千円】

石原 鮎美
小田 賢一
川村 正洋
佐藤 健一
手塚 雅文
福田 健二
村西 由紀
和田 大輔

石原 貴文
笠原 誠人
草場 信之
高橋 伸治
西田 慎吾
舛川 正晃
森 正彦

大林 姿子
嘉屋 元博
口田 圭吾
高見 守亮
野並 雅章
宗岡 寿美
柳川 久

小川 晴子
川島 千帆
窪田さと子
千葉三都希
福島 道広
村上 徹
山本眞樹夫

【3千円～9千円】

生田 和哉
海田 芳隆
坂本さや香
中島 司典
山口 将

石割 厚希
加藤 豊
杉田帆奈美
中野 昌明
若木 海理

大橋 穰
木村 美紀
高石 竜一
花田 正明

小倉 真輝
玄 学南
津野 由希
堀田 努

【氏名のみ掲載希望の寄附者様】

(五十音順・敬称略)

相内 大吾
石井 利明
大和田琢二
川畑 秀伸
後藤 達彦
関谷 俊一
田中 秀樺
得字 圭彦
古岡 秀文
松本高太郎
山崎 栄樹

麻田 正仁
依藤 充明
春日 純
木村 賢人
小山 耕平
高橋 良江
谷 昌幸
西田 武弘
蒔田 均志
間宮 光岳
吉野 綾華

穴澤 清幸
梅津 一孝
金山 紀久
耕野 拓一
斉藤 準
田上 正明
塚本 孝志
早坂 美穂
松井 基純
三浦 秀穂
渡辺 純

有安 友美
大西 一光
茅野 光範
小嶋 道之
佐藤 禎稔
武田 洋平
David Campbell
東 陽介
松浦 佳子
村田浩一郎

不掲載希望 50名

感謝状の贈呈

このたび、大学基金に対して多大なご支援をいただいた村上豊氏、上田英夫氏、鈴木一郎氏、中川欣三氏、屋代征治氏、米澤裕吉氏並びに敷島製パン株式会社に対して、奥田潔学長より感謝状を贈呈しました。

この感謝状は、平成22年4月に帯広畜産大学基金を創設して以来、企業団体等にあっては100万円以上、個人にあっては50万円以上のご寄附をいただいた方に対し、大学基金で定める「謝意表明の基本方針」に基づき、贈呈したものです。

なお、企業・団体等で20万円以上、個人で10万円以上の寄附をされた方については、本学「かわプラザ」に設置している銘板にご芳名を掲載させていただいております。



村上氏と奥田学長



敷島製パン株式会社森田社長と奥田学長



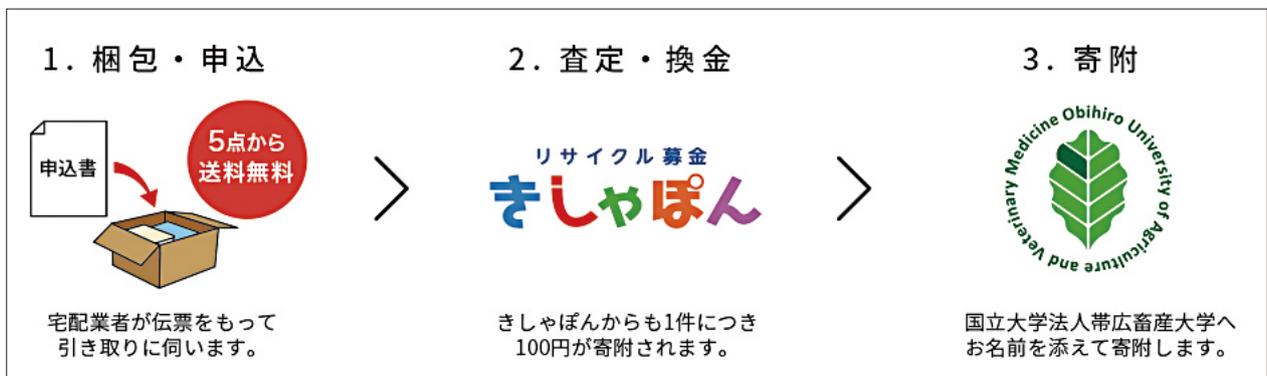
上田氏、鈴木氏、中川氏、屋代氏、米澤氏への贈呈
(※新型コロナウイルス感染症の拡大につき、郵送にて贈呈)

帯広畜産大学リサイクル募金事業の開始

令和2年度より、「帯広畜産大学リサイクル募金事業」を開始しました。リサイクル募金は、皆様から不要になった本やCD・DVD等を提供いただき、運営協賛会社（嵯峨野株式会社・リサイクル募金きしゃぼん）による査定換金額が大学基金へ寄附されるというものです。

大学構内にもリサイクル募金の回収BOXを設置し、リサイクル募金への協力を広く呼びかけています。

本事業による寄附金は「学生修学支援事業基金」への寄附として、学生の授業料免除事業及び学資給付事業等、学生支援のために活用しています。



リサイクル募金事業の流れ



学内への回収BOXの設置



リサイクル募金パンフレット

国立大学法人帯広畜産大学基金運営委員会委員名簿

構成員 14名（任期2年：令和2年4月1日～令和4年3月31日）

	職 名	氏 名
委員長	帯広畜産大学 学長	奥 田 潔
委 員	宮坂建設工業(株) 代表取締役社長	宮 坂 寿 文
	よつば乳業(株) 執行役員十勝主管工場長	池 浦 二 郎
	日本甜菜製糖(株) 取締役 専務執行役員 芽室製糖所長	鈴 木 良 幸
	(株)ズコーシャ 代表取締役会長	関 本 裕 至
	帯広商工会議所 会頭	川 田 章 博
	(株)土谷特殊農機具製作所 代表取締役社長	土 谷 紀 明
	(株)十勝毎日新聞社 代表取締役社長	林 浩 史
	帯広信用金庫 理事長	高 橋 常 夫
	帯広畜産大学同窓会 会長	西 田 讓
	帯広畜産大学 理事	福 島 道 広
	帯広畜産大学 理事	井 上 昇
	帯広畜産大学 理事	門 屋 充 郎
帯広畜産大学 副学長・事務局長	藤 波 豊 彦	

国立大学法人帯広畜産大学基金規程

(平成22年1月21日規程第1号)

改正 平成28年7月29日 規程第30号 平成29年3月28日 規程第15号

(設置)

第1条 国立大学法人帯広畜産大学（以下「本学」という。）に、経済的理由により修学に困難がある学生等を対象とした修学環境を支援するための基金として学生修学支援事業基金を、また大学運営及び社会貢献に関する活動を支援するための基金として大学運営支援事業基金を置く。

(学生修学支援事業基金)

第2条 学生修学支援事業基金は、次の各号に掲げる事業の用に供するものとする。

- (1) 授業料、入学料又は寄宿料の免除等の経済的負担の軽減を図る事業
- (2) 学費を貸与又は給付する事業
- (3) 海外留学費用を給付する事業
- (4) 教育研究業務に従事させるための雇用経費を支給する事業

2 学生修学支援事業基金は、前項に定める事業を寄附目的とする寄附及びその運用による果実をもって構成する。

(大学運営支援事業基金)

第3条 大学運営支援事業基金は、次の各号に掲げる事業の用に供するものとする。但し、前条第1項に掲げる事業を除く。

- (1) 教育研究環境の整備に関する事業
- (2) 社会貢献活動の支援に関する事業
- (3) 産業界、同窓生との連携に関する事業
- (4) その他本学運営のために必要な事業

2 大学運営支援事業基金は、前項に定める事業を目的とする寄附及びその運用による果実をもって構成する。

(基金の使途)

第4条 学長は、学生修学支援事業基金及び大学運営支援事業基金（以下「各基金」という。）の寄附の受入の決定にあたり、寄附者があらかじめ使途を特定しない場合においては、これを特定しなければならない。

2 各基金に対して納付された寄附金の使途は、変更してはならない。

(基金の運営)

第5条 各基金はそれぞれ区分して経理することとし、その運営は、各基金毎に受け入れる寄附及びその果実をもって充てる。

2 各基金の運営に関する重要事項の審議は、帯広畜産大学基金運営委員会（以下「委員会」という。）が行う。

3 委員会の組織運営等については、別に定める。

(賛助会員)

第6条 各基金の目的に賛同する者は、学長の承認を受けて賛助会員となることができる。

2 賛助会員及び賛助会費に関し必要な事項は、別に定める。

(事業年度)

第7条 各基金の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。

(庶務)

第8条 各基金の庶務は、事務局関係課等の協力を得て、総務課基金・広報戦略室において処理する。

(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか、各基金の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成22年1月21日から施行する。

附 則 (平成28年7月29日規程第30号)

この規程は、平成28年7月29日から施行し、平成28年4月1日から適用する。

附 則 (平成29年3月28日規程第15号)

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

国立大学法人帯広畜産大学基金賛助会員規程

(平成22年1月21日規程第2号)

改正 平成28年7月29日 規程第31号

(趣 旨)

第1条 国立大学法人帯広畜産大学基金規程(平成22年規程第1号)第6条第2項の規定に基づき、国立大学法人帯広畜産大学基金(以下「基金」という。)の事業活動をより充実したものとするため、この規程を定める。

(賛助会員)

第2条 賛助会員は、基金の目的に賛同し、事業に協力するものであって、様式1の申込書を提出し、かつ、この規程に定める賛助会費を納付した者とする。

(賛助会費)

第3条 賛助会費の額は、次のとおりとし、1口以上を申しこむことができる。

- (1) 個人会員の場合は、1口年額5千円とする。ただし、教職員については、1口月額500円として申し込むことができる。
- (2) 法人・団体会員の場合は、1口年額1万円とする。

(賛助会員の脱会等)

第4条 賛助会員で脱会しようとする者は、様式2の脱会届を提出するものとする。

2 賛助会員が賛助会費を納付しない時は、脱会したものとみなす。

(賛助会費納付金の運用)

第5条 賛助会員から納付された賛助会費は、基金の運用財産収入又は基本財産収入として経理し、運用する。

附 則

この規程は、平成22年1月21日から施行する。

附 則 (平成28年7月29日規程第31号)

この規程は、平成28年7月29日から施行する。

国立大学法人帯広畜産大学基金運営委員会細則

(平成22年1月21日 細則第1号)

改正 平成24年2月16日 細則第12号 平成27年6月2日 細則第7号

平成28年5月24日 細則第4号

(趣 旨)

第1条 この細則は、国立大学法人帯広畜産大学基金規程（平成22年規程第1号）第5条第3項の規定に基づき、国立大学法人帯広畜産大学基金運営委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(任 務)

第2条 委員会は、帯広畜産大学基金（以下「基金」という。）の管理及び運営に関する次に掲げる事項について審議を行う。

- (1) 事業計画に関する事項
- (2) 基金の予算及び決算に関する事項
- (3) 寄附の受け入れ及びその運用に関する事項
- (4) 寄附者への謝意表明の基本方針に関する事項
- (5) その他基金の管理及び運営に関する重要事項

(組 織)

第3条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する

- (1) 学長
- (2) 理事
- (3) 大学の役員及び職員以外で大学に関し広くかつ高い識見を有するもののうちから、学長が指名する者 若干人
- (4) 帯広畜産大学同窓会役員の中から学長が指名する者 若干人
- (5) 事務局長
- (6) その他学長が必要と認めた者 若干人

(任 期)

第4条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠又は増員による委員の任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、学長をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、委員長が指名した委員が、その職務を代行する。

(会 議)

第6条 委員会は、委員の過半数が出席し、かつ、第3条第3号の委員のうち少なくとも1名が出席しなければ、会議を開くことができない。

- 2 議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第7条 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を会議に出席させて、その者から説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、事務局関係課等の協力を得て、基金・広報戦略室において処理する。

(雑則)

第9条 この細則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

1 この細則は、平成22年1月21日から施行する。

2 この細則施行後、最初に任命される第3条第3号、第4号及び第6号の委員の任期は、第4条の規定にかかわらず、平成26年3月31日までとする。

附 則（平成24年2月16日細則第12号）

この細則は、平成24年2月16日から施行する。

附 則（平成27年6月2日細則第7号）

この細則は、平成27年6月2日から施行する。

附 則（平成28年5月24日細則第4号）

この細則は、平成28年5月24日から施行し、平成28年4月1日から適用する。



発行 令和3年10月

編集発行 帯広畜産大学総務課 基金・広報係
所在地 〒080-8555
北海道帯広市稲田町西2線11番地
電話番号 (0155)49-5995
<http://www.obihiro.ac.jp/fund>
